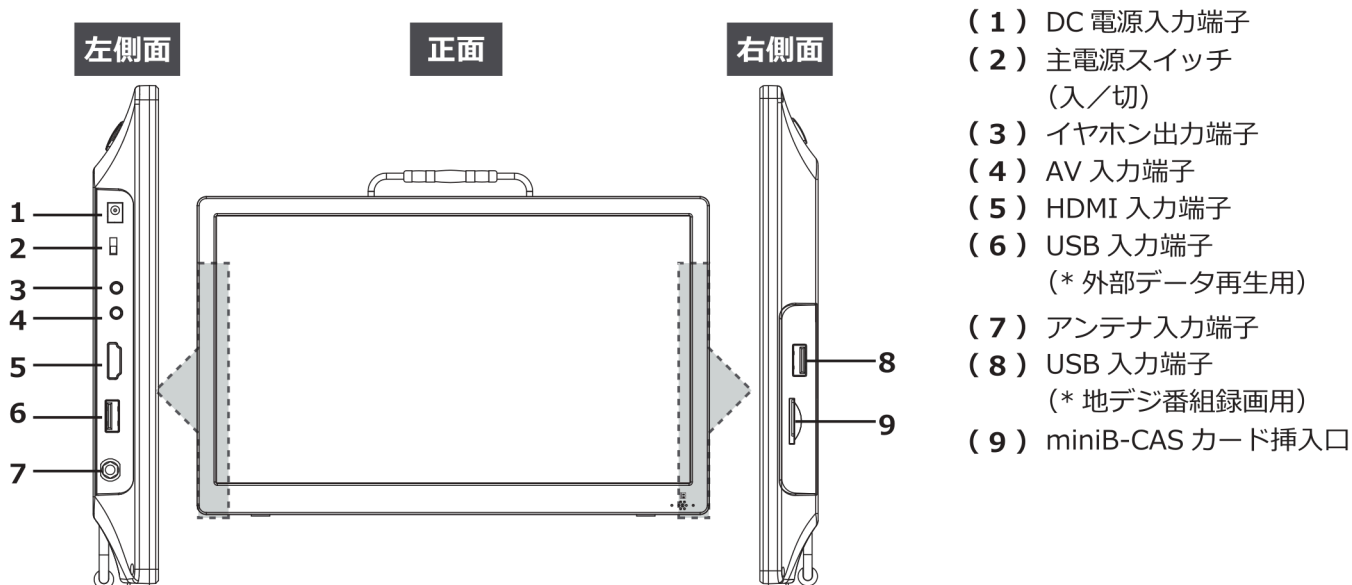


各端子部などの名称（本体側面部）

本体の左右側面にあるスイッチや端子の名称です。アンテナや外部機器と接続する際は各機器に対応した各端子と接続してください。



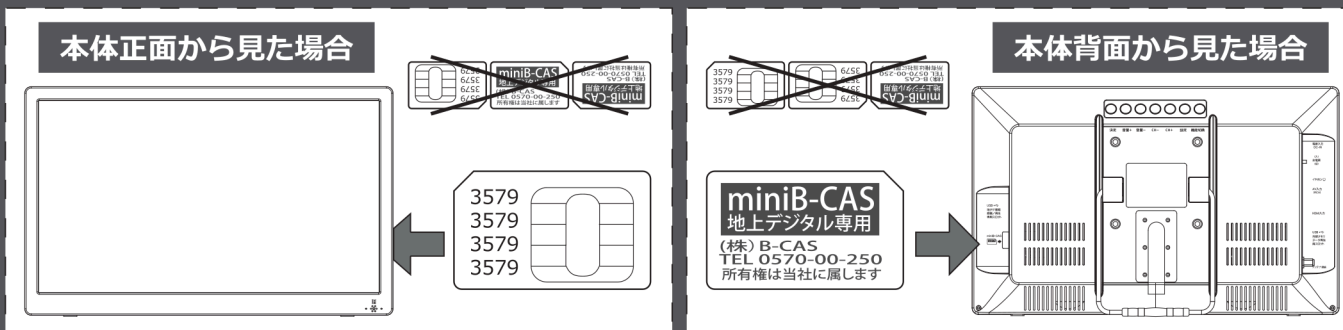
- (1) DC 電源入力端子
- (2) 主電源スイッチ (入/切)
- (3) イヤホン出力端子
- (4) AV 入力端子
- (5) HDMI 入力端子
- (6) USB 入力端子 (* 外部データ再生用)
- (7) アンテナ入力端子
- (8) USB 入力端子 (* 地デジ番組録画用)
- (9) miniB-CAS カード挿入口

miniB-CASカードの準備

地上デジタル放送を視聴する場合、miniB-CAS カードの常時挿入が必須です。下図を参照の上、カードの向きに注意しながら正しく挿入してください。

●miniB-CAS カードの正しい挿入方向：

カードの「角欠け部分」を上に向け、「角欠け部分」から挿入してください



●挿入の方法

- ・miniB-CAS カードの挿入方向を確認し、「カチッ」と音になるまでまっすぐに押し込んでください。
- ・miniB-CAS カードを取り出す際は、カードの中央部を押し、まっすぐに引き出してください。
(カードの挿入/取出しをする時は、急に指を離さないでください)



注意

- カードの抜き差しは本機を電源コンセントからを外した状態で行ってください。
- miniB-CAS カードスロットにはカード以外の物を挿入しないでください。
- miniB-CAS カードの IC (集積回路) 部には手を触れないでください。

※miniB-CAS カードの取扱いにつきまして、詳しくは miniB-CAS カードの封入用紙をご覧ください。

※miniB-CAS カードの故障、破損、紛失などについてのお問合せ先：

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ／B-CAS カスタマーセンター TEL：0570-000-250

リモコンの準備

リモコンを使用可能な状態にします。以下をご参照ください。

電池の入れかた

【注意】電池は極性を間違えないように下図のとおり入れてください。

※ リモコンには単4形乾電池2本が必要です。

※ 付属の単4形乾電池2本は動作確認用です。早目に交換されることをおすすめします。

リモコン底面

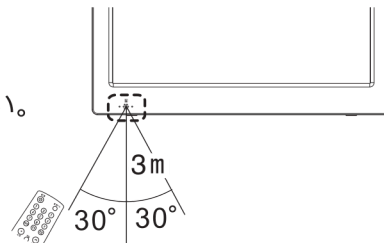
- 1 指で爪部分を押さえながら
上へ持ち上げて電池カバーを取り外します。

- 2 電池の向きに注意して
電池を入れます。

- 3 電池カバーを
しっかり閉めます。

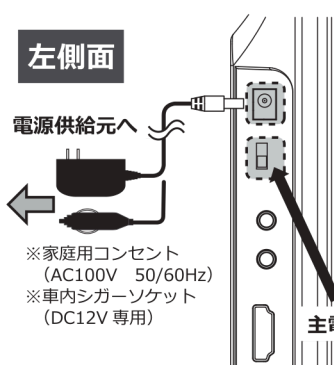
■ リモコンの基本的な使い方

- リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本製品のリモコン対応範囲は距離 3m 以内／左右 30°以内です。
(右図参照)
- リモコンと本体リモコン受光部の間に物などを置かないように
ご注意ください。



電源コードをつなぐ / 電源を入れる

左側面



付属品の電源アダプター（A C アダプターまたは車載用 D C アダプター）と本体を接続し、コンセント側または D C 1 2 V シガーソケットと接続します。電源アダプター接続後、本体に正しく通電されると、充電ランプ（赤）が点灯して充電が始まります。（充電中：点灯／満充電時：消灯）通電中または充電電池に蓄電された状態で主電源を入れると、電源ランプ（緑）が点灯して本体が起動します。

⚠ 注意

- 本体起動後、画面が表示されるまで数秒かかります。
- 本機を長時間ご使用にならない場合は、電源プラグを抜いてください。



チャンネルの初期設定

本機をご購入後に初めて起動させると、画面に＜インストールガイド表示＞または＜チャンネルサーチの開始＞となります。下記を参照に本機へのチャンネルの登録を完了させてください。

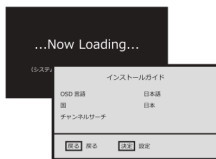


●チャンネル設定の前に以下の項目をご確認ください。

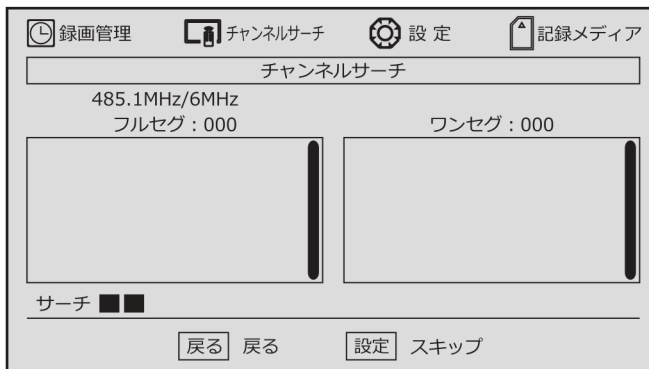
- ①電源プラグが正しく接続されていること
- ②アンテナ線が正しく接続されていること
- ③miniB-CAS カードが正しく挿入されていること



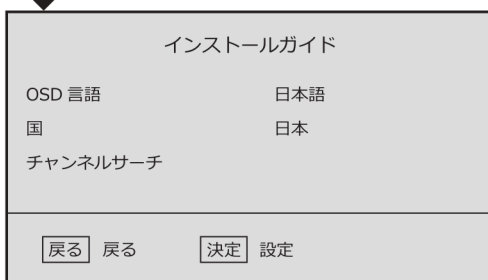
本製品に同梱されている外付けアンテナは**屋外用**の簡易アンテナです。チャンネル受信局数の登録漏れなどを防ぐため、特に初回時のチャンネル登録設定の作業を行う際は室内用アンテナとの接続の上、設定・登録してください。
(※本機とアンテナとの接続方法は P10 をご参照ください)



* 電源を入れるとシステム起動中 (左図) の表示後、＜インストールガイドの表示＞または＜チャンネル自動検索の開始＞となります。(※機種により異なる)
＜インストールガイドの表示＞の場合：リモコン「決定」を押してください。
＜チャンネル自動検索の開始＞の場合：スキャン終了までお待ちください。



番組登録が失敗した場合

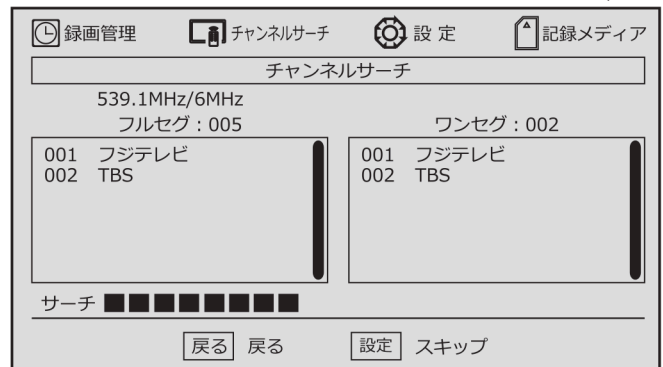


※
設定電波を受信できずにチャンネル登録が失敗した場合、インストールガイドに戻ります。下記をご確認の上、リモコンの決定ボタンを押して再度チャンネルスキャンを行なってください。

- * 本機に正しく B-CAS カードが挿入されていますか？
- * 本機と接続しているアンテナが地デジ放送の電波を受信できていますか？
(アンテナの設置位置などをご確認ください)

チャンネル受信成功／登録中

※本機と接続したアンテナが電波を受信すると、下図のようにフルセグ／ワンセグの項目にチャンネルが追加登録されていきます。



本機に番組が登録された場合



※
チャンネルサーチ終了後、番組の登録が成功すると、登録された番組が表示されます。電波の受信レベルに応じてフルセグ放送及びワンセグ放送のいずれかが表示されます。

チャンネル初期設定（続き）

<設定しても放送が正しく映らない場合>

初期設定を終えるとチャンネルスキャンで登録されたテレビ番組が表示されます。

「テレビ番組が全く表示されない」「画面が乱れる」などの症状が出た場合は、地デジ放送の受信方法やアンテナの設置方法などに問題がある場合があります。以下を参照にご確認ください。

デジタル放送の受信方法の確認

<放送チャンネルが登録されない...>

■屋外アンテナの場合：

アンテナが地上デジタル放送受信対応の UHF アンテナ、または VHF/UHF 混合アンテナであるかどうかをご確認ください。
(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。)

■ケーブルテレビの場合：

地上デジタル放送を視聴するために、ケーブルテレビ放送 (CATV) やマンションなどの共聴システムをご利用の場合は、パススルー方式での地デジ放送受信に対応しているか、ご契約の CATV 会社や共聴システムの管理者にご確認ください。

■本製品同梱の簡易アンテナの場合：

付属の外付けアンテナは、強電界地域の屋外での用途向けに作られた簡易的なサービス品です。ブースター (電波増幅装置) 機能などは付いておりませんので、中／弱電界地域や屋内などで使用した場合、正しく電波を受信できない場合があります。このような場合、市販品などの室内用アンテナやブースター内蔵アンテナなどを別途ご用意の上、ご利用ください。
(詳しくはお近くの電気店やアンテナ設置業者などにご相談ください。)

ヒント ☞ アンテナの底面は磁石になっていますので付属の台座、缶、金属物に着けることで受信レベルは上がります。
電波が悪い場所では受信設定の自動からワンセグにすることで受信レベルは上がります。

デジタル放送の受信レベルの確認

<CH 登録は成功したが、画像が乱れる・音しか出ない... など>

* <アンテナ受信レベルの確認方法> を参照に受信感度をご確認ください。 (* 詳細 P15 参照)

■30%未満の場合：

「アンテナの設置位置が悪い」「受信電波が弱い」「電波障害が起きている」などの可能性があります。

この場合、お近くの電気店やアンテナ設置業者・共同アンテナの管理者や CATV 会社などにご相談ください。

■50%以上の場合：アンテナ線などの接続に間違いはありませんか？ご確認の上、再度チャンネルサーチを行ってください。

地デジ受信方法の確認

本機にはフルセグ放送とワンセグ放送を自動的に切替える機能があります。特にフルセグ放送の受信レベルが低い場所に設置した場合、フルセグ受信とワンセグ受信に頻繁に切り換わり、その都度画面がフリーズなどを起こす場合があります。このような場合は設定メニューから受信切替を行い、ワンセグ受信に固定することで解消されます。

* 操作方法： リモコンの「設定」でメニューを表示 → 「◀▶」で「設定」に移動
→ 「▲▼」で受信切替に移動 → 「◀▶」でワンセグを選択
→ 「設定」または「戻る」で番組視聴に戻る → 変更した設定が反映されます



ワンセグ放送は小型携帯端末 (5inch 前後) 向けの伝送データ量の少ない放送波の為、本機でワンセグ放送を視聴した場合、フルセグ放送と比べると画質が粗くなります。故障ではございませんので予めご了承ください。

チャンネルの初期設定（続き）

<アンテナ受信レベルの確認方法>

1. リモコンの「決定」ボタンを押してチャンネルリストを表示する。
（リスト表示時：「◀▶」でワンセグ放送／フルセグ放送に切り換わります）
2. 受信レベルを確認したい放送局にカーソルを合わせ、リモコンの「決定」ボタンを押す。
（表示チャンネルが切り換わります）
3. リモコンの「情報表示」ボタンを2回押し、放送チャンネルの詳細情報を表示する。
* ページ下部に受信レベルのステータスバーが表示されますのでご確認ください。

※ リモコンの「情報表示」または「戻る」ボタンで番組視聴に戻ります。



注意

●アンテナレベルが低いと「テレビ視聴ができない」「画面が乱れる」「音声しか出ない」など様々な症状が起きる場合があります。安定して地デジ番組をお楽しみいただくためには、十分な受信レベル（推奨：70%以上～）を確保できる場所へアンテナの設置・方向の調整を行ってください。

※屋外アンテナの設置位置や方向などの調整は、高所での作業となる為大変危険です。アンテナ設置業者や電気店などへご相談いただくことをお勧めします。

※アンテナが正しく接続されていない場合、受信／視聴はできません。

※建造物、地下、トンネル、移動中の乗り物内、電波塔の無い地域、地形、強力な電波を発信する施設の周辺、電波障害を受けやすい場所、など電波の受信に影響が出やすい場所では、受信できない場合があります。

※デジタル放送では受信レベルが下がると、映像が止まる、ブロックノイズが出る、音声しか出ない、音声が途切れる、などの症状が起こる場合があります。また、移動中に受信している場合は、静止中の受信に比べ受信範囲が狭くなるため、正しく受信出来ない場合があります。

※次の放送は受信／視聴できません。＜地上アナログ放送＞ ＜BS/CS 放送＞ ＜データ放送＞ ＜緊急警報放送＞

※放送エリアの目安は、社団法人デジタル放送推進協会のホームページをご参照ください。

※その他の症状が起きた場合は、本書巻末のトラブルシューティングをご参照ください。

テレビを視聴する

以下の項目は地上デジタル放送をお楽しみいただくために本機の基本的な使い方やデジタル放送の機能などについての説明などをご案内いたします。

基本的な使い方 16

電子番組ガイド（EPG）を使う 18

基本的な使い方

本体の主電源を入れる／切る

- 本体側面の「主電源スイッチ」で ON / OFF に切り換えます。

リモコンで電源を入れる／切る（待機状態）

- 本体の主電源を ON にした状態でリモコン「電源」ボタンを押します。

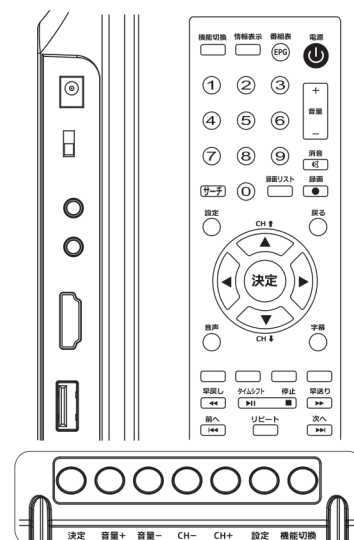
※電源ランプ表示：電源 ON 状態…電源ランプ<緑>

電源 OFF（または待機）状態…電源ランプ<消灯>

地デジ放送を選ぶ

- 外部機器から地デジ放送に切り換える時は、リモコンの「機能切換」ボタンを押し入力ソース「DTV」を選択後、リモコンの「決定」ボタンを押します。

※「機能切換」：<DTV> ▲▼<AV> ▲▼<HDMI> ▲▼<USB>

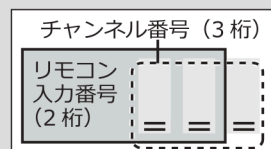


視聴チャンネルを選局する

- リモコンまたは本体の「CH+(-)」ボタンを押すとチャンネルサーチで登録されたチャンネル主番号 * の順に、チャンネルが切り換わります。

* 本書ではチャンネル番号（3桁）の下1桁の数字が「1」の番号を「主番号」と呼びます（例：051 / 081 など）

- リモコンの「数字」ボタン（2桁）を押すと指定したチャンネル（主番号）に切り換わります。
- 番組視聴中にリモコンの「決定」ボタンを押すとチャンネルサーチ時に登録された全てのチャンネルのリストが表示されます。（チャンネルリスト表示）
- 「▲」「▼」で視聴したいチャンネルを選択し「決定」を押すと選択した番組に切り換わります。



<操作例>

チャンネル番号 [021] を選局する時はリモコンの数字ボタンを「0」→「2」の順に押します。

※チャンネル番号 [023] を選局する時は、「決定」でチャンネルリスト表示後、「▲」「▼」で [023] を選択します。

（ご注意）チャンネルサーチで本機に登録されていない放送は視聴できません。登録漏れなどがあった場合は本書アンテナの接続（P10）をご確認の上、正しく接続してから再度チャンネルサーチを行ってください。

※チャンネルリスト表示時に「◀」「▶」でフルセグ／ワンセグ放送の選択ができます。

音量を調節する／消す（消音機能）

- 調節する：リモコンまたは本体の「音量+」「音量-」ボタンで音量を調節します。
- 消音する：リモコンの「消音」ボタンを押すと消音状態に切り換わります。
消音状態で同ボタンを押すと消音状態が解除されて音が出ます。

お知らせ

リモコンや本体のボタン操作などを立て続けに行なうと、内部システム起動用の CPU やメモリーが誤作動したりフリーズする場合があります。この場合は一度、本体の「主電源スイッチ」で本体電源を OFF にして操作メモリーをリセットすることで改善する場合があります。（改善しない場合は、<設定>メニューから<工場出荷時設定>に移動後、本体システムを工場出荷状態に戻してください）

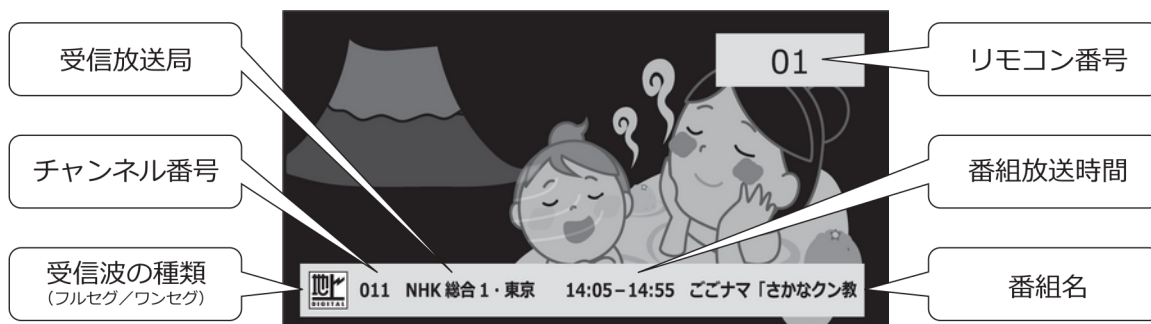
基本的な使い方（続き）

字幕設定の切換え／音声設定の切換え

- 字幕設定の切換え：リモコンの「字幕」ボタンを押すと字幕オン／字幕オフに切り換わります。
 - 音声設定の切換え：リモコンの「音声」ボタンを押すと音声切換メニューが表示されます。
「▲▼◀▶」で音声／主音声／副音声を選択後、「決定」を押して選択を確定します。
選択確定後に「戻る」を押すと番組視聴画面に戻ります。
- ※字幕設定／音声設定は視聴中の番組により選択や操作ができないことや、設定が反映されないことがあります。

テレビ番組視聴時の情報表示

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「情報表示」ボタンを1回押すと視聴中番組の簡易情報を表示します。
- ※簡易情報はしばらくすると消えます



- 上記簡易情報表示中に更に「情報表示」ボタンを1回押すと視聴中番組の詳細情報を表示します。
- ※「★項目」はワンセグ放送受信時は詳細表示されず、スキャン中と表示されます



- ※番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- ※番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。

電子番組ガイド（EPG）を使う

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと視聴中放送局の番組ガイドが表示されます。
- ※番組ガイドに関する詳細は P18 ～をご参照ください。

「録画」に関する機能を使用する

- 市販の USB メモリー等を別途ご用意の上、録画専用スロットに正しく挿入することで、録画機能を使用することができます。
- ※録画・予約に関する詳細は P19 ～をご参照ください。

本体設定メニューを表示する

- テレビ番組を視聴中にリモコンの「設定」ボタンを押すとテレビ用設定メニューが表示されます。
メニュー表示後、「▲」「▼」「◀」「▶」「決定」「戻る」ボタンを主に使用して様々な設定を行ないます。
- ※設定メニューに関する詳細は P25 ～をご参照ください。

電子番組ガイド (EPG) を使う

番組ガイド (EPG) の見方

■ テレビ番組を視聴中にリモコンの「EPG」ボタンを押すと視聴中放送局の番組ガイドが表示されます。

「EPG」表示の場合、これらのタグは操作できません

「◀」「▶」で放送番組の切替

「▲」「▼」でカーソルを移動

「赤」「緑」で枠内ページの切替

「黄」「青」で枠内ページの切替

リモコンガイド

● 番組ガイド表示時のリモコン操作：

- *[◀][▶]：視聴（表示）チャンネルの切換え
- *[決定]：カーソルで選択した番組の録画を予約
- *[黄][青]：カーソルで選択した番組の情報ページ（画面右側）を切換え
- *[情報表示]：録画予約した番組のリストを表示
- *[▲][▼]：画面左側のカーソル移動
- *[赤][緑]：画面左側のページを切換え
- *[戻る]：前の操作に戻る



注意

※各放送番組の番組表を取得 / 表示できるまでは、時間がかかる場合があります。
 （ご購入後すぐの起動時や再スキャンした後の番組表取得は、特に時間がかかる場合があります。）
 ※番組の中止 / 変更 / 延長などによって、実際の放送内容が番組表とは変わるまたは、異なる場合があります。

番組ガイドから録画予約する

- ① 「EPG」を押して番組ガイドを表示します。
- ② 「◀」「▶」で録画したいチャンネルに切り換えます。
- ③ 「▲」「▼」「赤」「緑」で録画したい番組にカーソルを合わせます。
- ④ 「決定」を押すと右図のような画面に切り換わります。
- ⑤ 各タグが録画したい事項と一致しているかを確認してから「決定」を押すと録画予約が設定されます。

※録画用スロットに USB メモリー等が挿入されていない場合、
 <メモリー設備なし> と表示

※現在視聴中の番組を予約しようとする <予約無効> と表示

- ⑥ 予約が設定されると予約リストが表示されます。

※予約設定を削除したい場合は予約項目にカーソルを合わせて「青」
 ※番組ガイドに戻る場合は「戻る」



注意

※録画機能をご利用の際は、市販の USB メモリー等が必要です。電気店等で別途ご用意ください。
 ※番組ガイドから録画の予約を設定した後に番組の延長や中止などで放送時間が変更になった場合、本機では自動的に録画時間の延長や番組移動による予約時間の変更などは行なわれません。
 このような場合は予約リストから予約設定した時間帯を選択の上、手動で編集を行ってください。
 ※本機で録画したデータは他の機器では視聴再生できません。

※録画機能に関する詳細は P19 ~ をご参照ください。

録画機能を使う

以下の項目は本機に搭載されている地デジ録画機能についての説明などをご案内いたします。

番組録画（予約）機能について..... 19
番組録画に関する各機能を使う..... 22

録画用外部メモリーの準備 20

番組録画（予約）機能について

録画機能をご利用いただく前に、下記をよくお読みになり正しくご理解の上、ご利用ください。

- 本機は＜シングルチューナー＞搭載モデルです。裏番組録画機能（視聴中の番組以外の番組を録画する機能）はありません。
- 本機には録画用ディスク（メモリー）は内蔵されておられません。録画機能をご利用になる場合は、市販品の USB メモリー等を別途ご用意ください。（地デジ録画用スロット：USB メモリー：容量 256GB まで動作確認済／外付け HDD：500GB まで動作確認済）
（※データ転送方式が 2013 年現在の規格から変更された HDD では使用できない場合があります。）
- 本機搭載の USB スロットで読み込み可能なファイルシステム（ディスク形式）は【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読み込みが可能です。exFAT 形式等には対応していません。特に大容量のメモリーや HDD をご使用される場合はファイルシステム形式をご確認いただき、本機非対応形式の場合はパソコンなどで形式変更してからご使用ください。
- 本機に録画用として装着する USB メモリー等は、事前に試し録画を行い、正常に動作するかお確かめください。
- 本機で録画したデータは MTS ファイル（拡張子 .mts）として保存されます。
- 録画機能は入力ソースが「DTV（テレビモード）」でのみ利用可能です。録画機能を利用する際は入力ソースを外部入力に変更しないようにご注意ください。特に録画の予約を設定している場合、外部機器を利用中に録画予約を設定した時刻がきても、入力ソースは自動変更されない為、録画機能は実行できません。
- 録画中に入力ソースを外部機器入力に切り換えると、システムが切り換わる為、録画が途中で強制終了します。
- 録画中は、録画中のチャンネル以外の番組への切換えなどの操作はできません。
- 何らかの理由（主電源が切れた、電波が途切れた、など）で録画が中断した場合、データが破損して再生できない場合があります。
- 番組ガイドは約 8 日後まで取得できます。番組ガイドで表示できない先の日付を予約する場合は指定録画で日付指定をしてください。
- 同じ時間帯に重複した番組を録画することはできません。
- 本機で録画したデータはその他の再生機器では再生できません。また本機で録画したデータは本機でのみご視聴ください。
- コピー禁止の番組や、外部機器（DVD プレーヤーなど）からの入力データを記録（録画）することはできません。本機で受信したテレビ放送の番組のみ録画が可能です。
- 著作権保護の為、本機で録画したデータの移動やコピーは絶対に行なわないでください。
- 故障などの理由で本機を修理や交換した場合、以前に記録した録画データは視聴できなくなる場合があります。予めご了承ください。
- 本機で録画した録画データは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画データを個人または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内でお楽しみいただく以外に、許諾なく複製や改変をしたり、インターネットなどで送信や掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為についても原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
 - ・録画した番組を自分のホームページや SNS などに載せる
 - ・録画した番組をメールなどで他人へ送る
 - ・録画した番組を営利目的で不特定多数へ貸し出す
- 著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので、自己責任のもとでご利用ください。なお著作権法違反によって生じた損害などに関して、当社は一切の責任を負いません。



注意

※録画機能をご利用になる場合、録画用として別途市販などの USB メモリーや HDD が必須です。
録画用メモリーが正しく装着されていない場合、録画機能は利用できません。



注意

※外部メディア（USB メモリーや HDD など）はメーカーや型式によっては読み込まない場合があります。
この場合、他メーカーや型式のメディアで読み込み可能かをお確かめください。
※外部メディアについての作動保証およびサポートは行っておりません。予めご了承ください。

（※録画用メモリーについての詳細は、P20 ～をご参照ください）

録画用外部メモリーの準備

録画機能を使用する場合、市販の USB メモリーや USB 外付け HDD が別途必要です。
電気店などで別途ご購入の上、ご用意ください。

●別途必要なもの：□USB メモリーや外付け HDD などのデータ記憶装置

* 外付け HDD は次のものを推奨：●電源供給型 ●標準規格 -USB2.0 ●容量：～500GB
●USB容量推奨～256GB

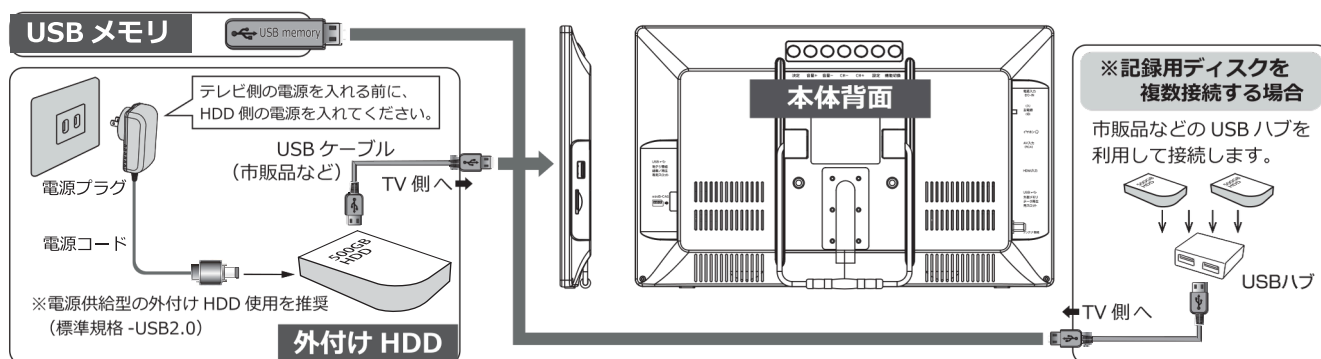
＜大容量メモリー（32GB 以上）をご利用される場合＞

■本機の USB スロットで認識可能なファイルシステムは【FAT32 形式】にフォーマットされたディスクの読み込みが可能です。大容量タイプのメモリーや HDD の場合、購入初期時のファイルシステムが exFAT 形式や NTFS 形式であることが多い為、ディスク購入後すぐに本機と接続しても正常に認識しない場合があります。この場合は、パソコンなどで、購入されたディスクのファイルシステムを FAT32 形式にフォーマットしてから本機と接続してください。（HDD のフォーマット等につきましては各 HDD 製造メーカー等にお問合せください）

※フォーマットの手順例は本書33ページを参照してください

接続のしかた

本体左側面の「USBポート」にUSBメモリーやHDDを接続します。



お知らせ

- USB ハブを使用することで、同時に 2 台までのディスクの接続が可能です。
- 外付けディスクをフォーマットする時は、必ずテレビと 1 対 1 で接続してください。
- 本機に接続する外付けディスクのメモリー容量は、500GB までのディスクを推奨いたします。



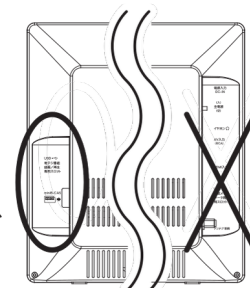
注意

※録画用スロットに正しく装着してください。

（データ再生用スロットに装着しても地デジ録画機能は利用できません）

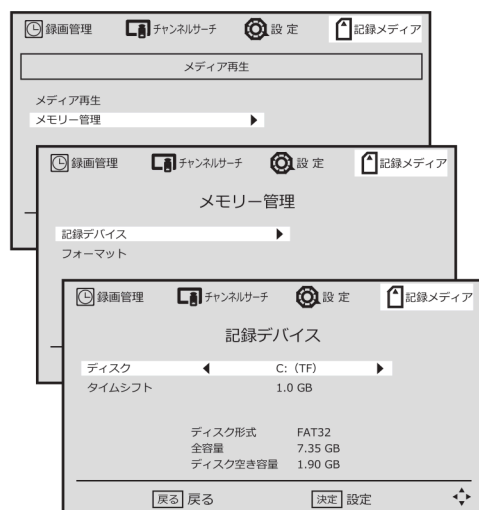
※パソコンなどその他の機器で使用していたUSB メモリー等を本機で使用した場合、保存していたデータなどは消去される場合があります。

※本機で録画保存したデータは他の機器で視聴・再生は行わないでください。



メディアの状態を確認する

下図を参照に、装着した 録画用メモリーの状態が確認できます。



- ① リモコンの「設定」を押して設定メニューを表示します
- ② 「◀」「▶」で記録メディアにカーソルを合わせます
- ③ 「▲」「▼」でメモリー管理にカーソルを合わせて「決定」を押します
↓（メモリー管理画面に移行）
- ④ 「▲」「▼」でカーソルを記録デバイスに合わせて「決定」を押します
- ⑤ 記録デバイスの状態が表示されます
- ⑥ 「▲」「▼」「◀」「▶」で各カーソル移動／
「決定」で各項目を設定／「戻る」で前の画面に戻ります

・タイムシフト：タイムシフト機能に割り当てる容量を設定します
（タイムシフト機能については P24 ～をご参照ください）

*「正しく録画用メモリーを装着していない」「本機で認識できていない」場合、
「メモリーデバイスがありません」と表示されます